

# 4 内職的家内労働者のみなさまへ

内職者も **1 参考 1** 家内労働者はやわかりの要件を満たしていれば、家内労働者となり、家内労働法が適用されます。

## 1 内職を始めるときは

内職を始めたいという方は、ほとんどが、仕事はしたいけれど家事や育児で家をあけられないという方です。そこで、内職を始めるにあたって、まず、自分がどのくらいの時間を仕事にあてられるか、考えましょう。それには、家族の理解を得ることも大事です。

次に、内職には、いろいろな仕事があり、主なものは、和裁・洋裁・縫製加工・組み立て・文字入力などです。仕事によっては、危険・有害なものもあります。また、騒音や悪臭、ゴミなどの出るものもあります。これらのことに注意し、自分のできる仕事を選びましょう。ただし、「短時間で誰にでも簡単にできて、工賃の高い内職」というのはありません。高い工賃をもらうには、根気よく続けて効率を良くし、かつ、技術を身につけることです。

みなさんの製品を買ったり使ったりする人がいます。責任をもって仕事にとりくみましょう。

## 2 内職グループをつくりませんか

内職は、一人でやるより、グループで行う方が、いろいろ便利です。

- 大量の仕事を引き受けることができ、業者の信頼を高め、条件の良い仕事ができるようになります。
- グループ全体で業者と話し合いをすることにより、工賃などの条件を少しずつでも良くすることができます。
- 少し遠くても、業者が材料や製品を運んでくれるので、手間がはぶけます。
- グループの方が、業者の技術講習などを受けやすくなります。また、仲間どうしで、いろいろな情報の交換もできます。

## 3 インチキ内職の“落とし穴”に落ちないために

- 高収入すぎるのは要注意。簡単な仕事で高収入というのは、ないと考えてよいでしょう。「成功報酬」というのも、成功する保証がないので、気をつけましょう。
- 費用がかかるものは、よく考えましょう。
- 広告には甘い話ばかり書いてありませんか。
- 仕事の内容・工賃など、条件を最初にはっきりさせましょう。家内労働者である内職者には、家内労働法が適用されます。委託者に家内労働手帳を交付してもらいましょう。

